

認定こども園つばさ 自己評価 平成 23 年度分まとめ

■実施内容

- ◇ 幼保職員を対象に平成 24 年 3 月 26 日実施
- ◇ 記名によるアンケート
- ◇ 有効回答数：26 人（幼保職員合計）
- ◇ 下記の目標や、日頃の園活動についてどこまで達成しているかを自己評価で採点する。

◎園の理念

- ・楽しく学び自ら伸びる子ども
- ・子どもと共に喜び共に育つ園

◎H23 年度年間目標

- ①群の心（みんなで一つ）
- ②0～3歳重視の統一カリキュラム
- ③幼保相互間の交流
- ④一つ上の目標に挑戦（同じことの繰り返し禁止）
- ⑤職場ルールの徹底（笑顔、肯定的「ハイ」、ハウレンソウ）

- ◇ 評価は項目ごとに 10 点：十分なされている、～ 0 点：全くなされていない、で採点する。

■集計結果

末尾に添付のグラフ参照

■自由記述抜粋

- ◇ 職員間の連絡がうまくいっておらず、伝わっていない情報が多かった。もう少し細かに連絡が必要。
- ◇ 園だよりとクラスだよりの重複をなくす。
- ◇ 幼保間の連絡ミスが目立った。ハウレンソウ不足。
- ◇ 職員間で、意見を出し合い、工夫したり改善したりする話し合いの場を定期的に設ける必要がある。
- ◇ 現状で満足して自己研鑽が不足していた。今後明確な目標をたてていく。
- ◇ 行事の計画が不足しており、内容が充実していなかった。
- ◇ 目標の理解はできていたが、実践が伴わなかった。
- ◇ 幼保交流は計画のみで実践が進まなかった。
- ◇ 連絡帳の見落としがあった。
- ◇ 取り組みがマンネリ化してきている。
- ◇ バスの乗せ間違いがあり、保護者に不安をあたえてしまった。
- ◇ 電話対応が悪かった。自ら積極的に電話に出ることができなかった。
- ◇ 保護者とのコミュニケーションが不足している。特にバス利用児。
- ◇ 園庭遊戯の安全確認がきちんとされていない部分があった。
- ◇ 地域への情報発信や交流が不十分だった。小中とも定期的に交流したい。
- ◇ 園内外の清掃に時間をとる必要がある。

■考察

- ◇ 職員間のチームワーク意識は高いが、一方で職員間の連絡がうまくいっていない。職場の雰囲気だけでなく、連絡等の業務がスムーズにいく仕組み作りが必要である。
- ◇ 年間目標②（0～3歳重視の統一カリキュラム）の評価が低いのは、全体的なカリキュラムが明確に整理されていないことが原因であると考えられる。また③（幼保間の交流）に関してもクラス単位での交流等一部実施できた部分もあるが、回数や内容において不十分な点があり、次年度の課題だと思われる。
- ◇ 園庭・遊具の安全確保の評価が低い。遊具や柵が一部痛んでいたため、交換・補修を行ったが、今後も、継続的にチェックとメンテナンスを行っていく。

アンケート結果

